科目分類	医療のコラボレーション教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18042	3	前期	選択	2	30
授業科目名 (英文)	医療マネジメント論 (Healthcare Management)				
担当教員名	鈴木　直人				

授業の概要及び到達目標
概要：コラボレーション科目である本授業では、医療サービスを支える組織運営という視点から経営組織としてのマネジメントについて学びます。マネジメントとは、経営組織が保有する様々な資源を管理し、経営上の効果を最適化するための概念や仕組みをさします。 「マネジメント」という言葉に興味を抱かない人も多いと思います。特に、仕事経験のない大学生がマネジメントをイメージすることは難しいでしょう。しかし経営組織というのは、個人が集まって織り成す活動であることから、組織活動も個人活動と共通するものがあります。むしろ「三人寄れば文殊の知恵」という諺の通り、個人が集った方が多くの結果をもたらすことも事実です。 ところでこの授業には、コラボレーション科目であるという側面もあります。コラボレーションを簡単に言い表すと、「幅広い知識と教養を身に付けるとともに、社会人としての基礎になる力を養うこと」となるでしょう。すなわち、医療人として働くだけではなく、より良い社会人になって欲しいという願いがこめられています。 授業ではこうした点を踏まえ、サークル活動やアルバイト、または個人の生活など、われわれの身近な活動と対比をさせながら、マネジメントが私たちの身近なものであり、幅広い場面で役に立つ考え方であるという認識をもってもらえるように三部構成で進めます。 第一部は総論として、組織マネジメントの概念を理解してもらいます。 第二部は、仕事をする上で発生するテーマを取り上げ解説します。 第三部は、演習を通してマネジメント活動を実践してもらいます。 到達目標：マネジメントの基本概念を理解する。
準　備　学　習　等
配布するプリントの内容に沿って、復習を行ってください。 各回２時間程度の復習が望ましい。

成績評価の方法	出席 30%、中間テスト 30%、期末試験 30%、チーム演習 10%
テキスト	プリントを配布
参考図書	医療経営人材育成テキスト（経済産業省） 経済産業省の HP から PDF をダウンロードできます。

備　　考	・マネジメントは正解のない概念論であるばかりか、組織活動は広範であり複雑であるために社会経験の浅い学生にとっては理解し辛い点が多々あると思います。そこで、講義で使用する資料は、必要な事項をまとめたプリントを配布します。また、講義の中で演習を行うことで理解度を高めてもらいますが、学習した内容については復習をし確実に理解してください。特に、聞きなれない専門用語が多く出ますが、この分野の共通語であることから正確に理解してください。なお、質問などは授業終了後に受けつけますので、遠慮なく質問してください。 ・卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。 ・下記第５回目に実施する中間テストについて、採点後点数を各人に告知するので、以降の学修態度の振り返りの参考にしてください。 ・本試験および追試験・再試験は持込み不可とします。

授　業　計　画

第１回　ガイダンス／組織について
ガイダンスを通して授業の進め方等について話をした後に､マネジメントを展開する場としての組織について基礎的な内容を学習します。
第２回　組織活動とマネジメント
組織が行う様々な活動とマネジメント活動との関係について学習します。
第３回　マネジメントの質的変化と活性化の仕組み
時代とともに変化するマネジメントの考え方について学習します。
第４回　人の活用
マネジメント活動の中心となる人の活用と人材育成について、組織内の仕組みを学習します。
第５回　中間テスト
第６回　マーケティングの活用
環境変化に組織を適応させるための方法としてマーケティングの活用について学習します。
第７回　円滑な業務遂行
仕事をする際に意識しなければならないポイントについて学習します
第８回　問題解決技法
仕事をする中で発生する問題とその対処方法について考えてみます。
第９回　リーダーシップ
活力ある組織活動のために必要となるリーダーシップについて学習します。
第 10 回　コミュニケーション
人がリーダーシップを発揮する際に使う手段としてのコミュニケーションについて学習します。
第 11 回　財務管理
組織活動を継続させるために不可欠なお金について、その管理方法について学習します。
第 12 回　利益計画
組織には利益が必要となるため、利益を生むための考え方について考えます。
第 13～15 回　チームマネジメント演習
チームに与えた課題に取り組むことで、ここまでに学んだことを体系的に整理し最後に
発表します。